碧南防災ボランティア連絡会　定例会

日時　令和７年１２月１６日（火）１０時～
　　１２月１７日（水）１９時～
場所　へきなん福祉センターあいくる　会議室２・３

１　今年度の振り返り

・別紙活動報告のとおり
・救命講習の際、資料に沿った説明が足りないとの意見があった。来年度に向けてやり方は検討していく。
・備品などの購入も含めて各種助成金の活用について検討したい。（何をしたくて何のお金が必要かをまず決めたうえで検討していくべき）

２　直近の活動予定

（１）碧海５市社協勉強会
　日時：１月１５日（木）１３：３０～１６：３０
　場所：安城市社会福祉会館　２階講座室
　内容：災害時の連携の重要性・必要性を学ぶ

（２）日進防災委員会　防災講座
　日時：１月１８日（日）
　場所：日進公民館　２階ホール
　内容：避難所のトイレ事情

（３）防災ボランティア新年会
　日時：１月２５日（日）１１：３０～
　場所：衣浦グランドホテル
　内容：今年度の振り返り、次年度計画の検討

（４）ころころ調理プログラム
　日時：１月２９日（木）１０：３０～１３：００
　場所：福祉センターあいくる
　内容：うどん作り（具材はにんじん、油揚げ、しいたけ、ごぼう、ねぎ）
　協力者：石川良、山本、加藤、石川千、神谷幸江、角谷、杉浦卿、山田

（５）男女共同参画推進事業講演会
　日時：２月１日（日）１３：００～１５：００
　場所：碧南市役所　２階大会議室
　内容：能登半島地震体験者に学ぶ避難所運営
　申込者：（社協で取りまとめて申込）山本、山田、角谷、杉浦卿、石川千、神谷幸江、田川、加藤、磯貝、中田

会員名(敬称略)	16日	17日
石川　成光	○	
石川　千栄子	○	
石川　良春	○	
石原　健		
磯貝　清	○	
大竹　敦子		
柏谷　聖子		
加藤　政雄	○	
神谷　賢司		
神谷　幸子		
神谷　幸江	○	
斎藤　修二		
斉藤　冨美枝		
榊原　靖道		
杉浦　卿子	○	
杉浦　清隆		○
杉浦　末男		
杉浦　光		
鈴木　裕之		○
鈴木　美香	○	
角谷　早苗	○	
高橋　銀吾	○	
永谷　健伍		
禰冝田　悦子		
三浦　賢司		
村松　紀朗		
山口　多恵子		○
山田　美恵子	○	
山本　くるみ		
山本　康介	○	
山本　真澄	○	○
渡辺　明博		
石川　まさ恵		○
田川　直樹	○	
中田　有道		○
事務局	浅井	浅井

（６）消防署見学
日時：２月１５日（日）希望で消防署と調整

（７）スギ製菓　救命講習
日時：２月頃
内容：現段階ではスギ製菓から問い合わせがあった程度。今後もしスギ製菓から正式な依頼があれば市か社協へ連絡が来る予定。１人指導者を養成し、その方が会社内で周知していくという可能性もあるか。

（８）大浜つながり隊　ＨＵＧ
日時：１月２７日(火)か２月２４日(火)の１９：００～（１２月２３日に決定）
場所：１月なら南部プラザ、２月なら大浜公民館
内容：大浜つながり隊（町内会、民生委員などで構成の地域福祉について検討する有志のメンバー）向けの勉強会

（９）こども食堂向け防災勉強会
日時：３月１日（日）１０：００～
場所：福祉センターあいくるデイルーム
内容：全国こども食堂支援センター「むすびえ」が碧南市こども食堂向けに防災の講習会を開催（講義＋グループワーク）。防災ボラには参加者として、こども食堂との交流を主目的に５～６名は参加してほしいとの希望。
出席者：山本、石川良、角谷、加藤、山田

３　その他
（１）令和７年度以降の活動についての検討
- 活動案：普通救命講習、ＦＭＢ、ガラス飛散フィルムの貼り方講座、防災食づくり、ＨＵＧ（安城防災　岡田さん作成の避難所運営ゲーム含む）

その他、これまで出ている案は下記の通り。
- 子どもがリュックに自分の好きなおもちゃやお菓子、などを詰める体験。
- 植木鉢を利用した調理（タンドリーチキン）。
- Youtube での情報発信（活動に参加できない人も興味を持ってもらえる）。
- ロケットストーブの訓練について（水源公園等）。
- VR 機器の活用について。市の防災フェスタで使用していた VR ゴーグルを借りて体験できないか。
- 防災キャンプ。時期は１１月頃。学校等を借りられるとよい、との意見。
  →１１月は他行事で多忙。まずはボランティアのみで３月頃に小学校か中学校で防災キャンプを実施する方向で検討。杉浦光さんから日進小学校に確認、３月は卒業式等で体育館が使用できない可能性あり。行事等ふまえて日進小での実施ができるか（まずは日進小側が）検討。次年度もしくは R9 年度には市民対象にした防災キャンプも実施していきたい。
- 寄付金や助成金等の活用について、勉強できる機会を設けていきたい。
- ホームセンターやスーパーなど、防災用品を扱っている店舗での実演。
- 要配慮者の観点での支援検討。
- 災害ボランティアセンターの運営等。
- ボランティアの立場で、市や社協に改善の要望を伝えていきたい。

・　他、現実的に災害が起きた時に、市民が生き残っていくための術を学ぶ機会が必要。自己完結型の防災の知識を学ぶ。
・　要支援者（高齢者、障害者、外国人等）のみを対象とした避難訓練。

【次回の打合せ】
日時：令和８年　１月２０日（火）１０：００～　**デイルーム２**
　　令和８年　１月２１日（水）１９：００～（夜間開催）会議室３
内容：次年度の計画

【次々回の打合せ】
日時：令和８年　２月１７日（火）１０：００～　会議室２
　　令和８年　２月１８日（水）１９：００～（夜間開催）会議室３
内容：